



2022年3月25日

みなさまへ

会社名 株式会社ニチダイ
 代表者名 代表取締役社長執行役員
 伊藤 直紀
 (JASDAQ・コード 6467)
 問合せ先 執行役員管理本部長
 山根 隆義
 電話番号 0774-62-3481

固定資産の減損損失及び通期連結業績予想値の修正、並びに配当予想の修正 (減配) に関するお知らせ

当社は、2022年3月期通期の財務諸表において、固定資産の減損損失を特別損失として計上する見込みとなりましたので、お知らせいたします。

また、最近の業績動向も踏まえ、2022年2月1日に公表した2022年3月期の連結業績予想及び配当予想を下記の通り修正しましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 固定資産の減損損失の計上について

アセンブリ事業における事業環境の変化等を踏まえ、当事業の固定資産について、回収可能性を検討した結果、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、減損処理を行い、減損損失として7億4千3百万円を特別損失に計上する見込みとなりました。

なお、アセンブリ事業につきましては、設備投資の抑制、経費節減とともに、ネットシェイプ事業における技術開発能力も活かした受注活動の展開による、新規需要の獲得を進めてまいります。

2. 2022年3月期 通期連結業績予想数値(2021年4月1日～2022年3月31日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期純 利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	13,600	400	430	290	32円04銭
今回発表予想(B)	12,274	198	256	△747	△82円53銭
増減額(B-A)	△1,326	△202	△174	△1,037	
増減率(%)	△9.8%	△50.5%	△40.5%	—	
(ご参考)前期実績 (2021年3月期)	10,823	△339	△173	△170	△18円86銭

3. 通期連結業績予想の修正の理由

当社グループの主要顧客業界である自動車産業では、半導体供給不足等により自動車の生産が著しく停滞しました。その結果、自動車産業と関連の深い、ネットシェイプ事業、アッセンブリ事業の売上が前回発表予想を下回る見込みとなりました。その結果、営業利益、経常利益についても、前回発表予想を下回ることを見込んでおります。また、上記のようにアッセンブリ事業において固定資産の減損損失を計上する見込みとなったことから、親会社株主に帰属する当期純利益を修正する見込みとなりました。

4. 配当予想の修正

	年間配当金		
	第2四半期末	期 末	合 計
前回予想 (2022年2月1日)		5円00銭	10円00銭
今回修正予想		3円00銭	8円00銭
当期実績	5円00銭		
前期実績 (2021年3月期)	0円00銭	4円00銭	4円00銭

5. 配当予想の修正の理由

当社は、株主の皆様への利益還元を経営の重要政策と位置づけ、将来の事業展開と経営体質強化のために必要な内部留保を確保しつつ、安定した配当を継続していくことを基本方針としています。

今期は業績予想を下方修正し、親会社株主に帰属する当期純損失を計上する見込みとなりました。その結果、上記の基本方針等を総合的に勘案し、2022年3月期の期末配当予想を3円に修正することといたしました。

これにより、当期の年間配当金は、中間配当金5円と合わせて計8円となる予定です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。